

平成 28 年度 共同研究報告書

研究区分		萌芽的共同研究
研究課題		炎症の起点となる細胞群のトランスクリプトーム解析
研究代表者	所属	がずさ DNA 研究所技術開発研究部
	職名・氏名	副所長・小原収
受け入れ教員	職名・氏名	教授・村上正晃
研究目的 (100 字以内)		慢性炎症に重要な非免疫細胞での炎症回路に着目し、慢性炎症モデルの炎症局所や細胞株から RNA を単離、トランスクリプトーム解析を行うことで、共通項および相違点を明らかにすることを目的とした。
研究内容・成果 (200 字以内)		中枢神経系への免疫細胞の浸潤に、炎症回路活性化が寄与していることが知られている。分子神経免疫学で誘導された多発性硬化症モデル EAE での免疫細胞の侵入血管サンプルや培養細胞株の RNA Seq 解析を当研究所で行った結果、重要なケモカイン等が同定された。当該ケモカインを中和抗体で阻害することで病態が抑制されることも明らかとなった。今後は、血管での重要細胞の同定と分子機構の詳細を解析する。
成果		【学会報告】 参加者名、講演タイトル、学会名、開催場所、開催日時入力のこと
		【論文発表】 著者、論文名、掲載誌名、号・年・ページ等、IF 入力のこと
		【新聞報道】